

大臣認定 F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド CK448SP

ダイアボンドCK448SPは、スプレー用の折版屋根断熱材等の接着に開発されたクロロプレンゴム系の接着剤です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. トルエン・キシレンを使用していません。
3. 可塑剤を使用していません。
4. 初期接着性に優れます・

§ 用途

折版屋根断熱材の接着として、鋼板とポリエチレンフォーム、グラスファイバーなどの接着
 ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

| | |
|--------------------|------------|
| 主 成 分 | クロロプレンゴム |
| 外 観 | 黄褐色 |
| 不 揮 発 分 (%) | 18.5 ± 1.5 |
| 粘 度 (mPa·s) at20°C | 300 ~ 600 |
| 指触乾燥時間 (分) at20°C | 1 ~ 3 |
| 粘着保持時間 (分) at20°C | 20 ~ 30 |
| 保 証 期 間 (月) at25°C | 8 |
| 引 火 点 (°C) | -17 |
| 発 火 点 (°C) | 240 |

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 スプレーで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は、片面当たり 80~150 g/m² (両面で 160~300 g/m²) 塗布して下さい。
・ガン口径：2~2.5 mm φ 空気圧：0.3~0.6 MPa
3. はり合せ 常温にて 3~20 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着強さ

はく離強さ (N/25mm)

| | | GF/鋼板 | PE・F/鋼板 |
|-----|-------------|-------|---------|
| 常 態 | 1 時間 | 10 * | 12 * |
| | 24 時間 | 13 * | 16 * |
| | 48 時間 | 13 * | 16 * |
| | 96 時間 | 13 * | 16 * |
| 熱老化 | 80°C・240 時間 | 15 * | 16 * |
| 耐 熱 | 80°C | 6 * | 10 * |
| 耐 寒 | -20°C | 13 * | 18 * |
| 耐 水 | 240 時間 | 6 * | 16 * |

* : 材質破壊

GF : グラスファイバー

PE・F : ポリエチレンフォーム

試験方法 : JIS K 6854 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消化器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を良く洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物を拭き取り、水と石けんで良く洗います。
- ・ 容器を密閉にして、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 凍結に注意して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。